

株式会社フコク 2026年3月期 決算説明会 質疑応答要旨

株式会社フコク

Q. 2026年度予想で減収・減益を見込む理由、特に営業利益13億円減（中東情勢等による）の内訳、および、中東情勢の具体的な影響について。

- ・ 2026年度の売上においては、中東情勢の影響等を一定程度織り込んでいる。
- ・ 中東情勢の影響による営業利益13億円減少の内訳については、売上に関してはカーメーカーの予測を元に前年比5%程度の売上減、その売上減に伴う操業度の低下や、原材料費・輸送費の高騰などを今時点でわかる範囲で盛り込んでいる。
- ・ この売上計画に基づき利益計画を立てていることに加え、今年度は様々な変革プロジェクトにより、利益向上策などに取り組み、今期の計画は達成できると考えている。

Q. 配当方針の変更理由について。

- ・ 当社は株主への還元を重要な経営課題としている。方針の変更理由としては、その考え方を明確に示し、株主還元を拡充する観点から過去の実績も鑑みて変更した。具体的には配当性向30%を40%に、配当金の下限を20円から50円に変更した。今後も株主還元の充実を考えていく。

Q. JAXAの宇宙事業採択について、これによる会社としての見通し。

- ・ 当社の技術力が認められたと考えている。自動車産業ほど数量が見込めないが、宇宙の厳しい環境下で防振技術が生かせるということであり、今後もこの技術力を他の分野にも転用していきたい。

Q. ウレタン製品の見通しについて。中期経営計画の中で見込んでいた内容か。

- ・ 当社の製品は半導体生産装置に使われるウレタンローラーを製造している。世界シェアは30%。AI、データセンター、クラウドサービスの拡大により需要が急激に伸びており、成長率が高いと期待している。高速、高耐久の製品であり、お客様からも好評を得ている。現在の中期経営計画には盛り込んでいないが、昨今の状況から社内では生産ラインの合理化を進めている状況。

以上